ペットカート　ラプレ　ラプレＬサイズ　共通

取扱説明書

品質保証書付

このたびはお買い上げ頂き誠にありがとうございます
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上正しくお使いください

●**すぐに商品を開封**し、必ず内容をお確かめください。
●本書は**いつでも見られる場所**に大切に保管してください。
●各部品は本書をよくお読みの上、取り付けてください。
●本製品を他のお客様にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。
●ご使用中はつねにペットおよび周囲の安全に十分にご配慮のうえ、公共のルールとマナーを守って正しくご使用いただきますようお願いいたします。

Mother Cart
professional technique

目次

●目次・・・

ご使用の前に

この商品は一般家庭でペットを乗せ、日光浴やお買い物などに使用するためのペットカートです。
愛犬・愛猫などを乗せる以外の目的で使用しないでください。

安全にお使い頂くために

製品を使用する上でご理解頂きたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使い頂き危害や損害を未然に防止するため、内容をよくお読みの上、製品をご使用ください。

注意：愛犬が飛び出る危険性があります

●専用リードフックを必ずご使用ください

使用中は飛び出し防止に備え、必ず「リードフック」をペットの首輪やハーネスなどに装着してください。専用のリードフックの長さは、必ず調節してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。なお、リードフックは衝撃等により破損する場合がございます。十分にご注意ください。

●お使いのリードも併用してください

使用中は愛犬の首輪やハーネスなどに必ずリードを装着してください。装着したリードはお手元にしっかり持った状態でペットカートをご使用ください。

●ジャバラフード（フタ・幌）は完全に閉めた状態でお使いください

思わぬ衝撃や段差などにより、愛犬がカートから落ちる危険性があります。ジャバラフード（フタ・幌）は完全に閉めた状態でご使用ください。なお、ジャバラフードの上に愛犬を乗せると大変危険です。絶対に行わないでください。

注意：愛犬が怪我をする危険性があります

●バッグ部分（ペット乗車位置）以外に愛犬を乗せないでください

バッグ部分（ペット乗車位置）以外に愛犬を乗せないでください。愛犬を乗せる際は、所定の乗車位置に乗せてください。また、耐荷重を超えた重量のペットを乗せないでください。故障の原因になります。

●車体の開閉操作の際は周囲の安全確認を行ってください

車体開閉時、周囲に愛犬や人が近くにいすぎると怪我のおそれがあります。車体開閉の際は適度なスペースを確保して行ってください。

安全にお使い頂くために

警告：ペットカートが転倒し愛犬が落ちる危険性があります

●ハンドル部分に荷物をかけないでください

ペットカートの転倒や破損、使用者やペットカートに乗車している愛犬のケガの原因になりますので、ハンドル部分に荷物を吊るしたり、愛犬のリードをくくりつけたりしないでください。ハンドル部分への大きな負荷はフレームのゆがみなど、故障の原因にもなります。

●段差にご注意ください

段差を無理に乗り越えようとすると前輪に衝撃が加わり、転倒するおそれがあります。また、破損および故障の原因にもなります。段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。

●滑りやすい場所では使用しないでください

ぬかるみや砂浜雪が積もっているところ、凍結したところなど、悪路やすべりやすい路面では使用しないでください。ペットカートだけではなく、使用者も転倒するおそれがあります。また、路線や排水口などの路面の溝に車輪をとられたり挟んだりしないように、溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。

●使用中はカートから離れないでください

ご使用中はペットカートから手を放したり、ペットを乗せたままカートを離れたりしないでください。また、ペットカートが空車であっても停車中は後輪をロックし、坂道や傾斜のある場所、車道の近くなど、危険が予測される場所に放置しないでください。

●悪天候の際は使用しないでください

風の強いときは使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。また、雷の時も使用しないでください。落雷のおそれがあり非常に危険です。

●階段やエスカレーターでの使用は避けてください

ペットカートを押すときは走らないでください。タイヤの動きが悪くなり故障の原因になります。

●転倒防止にストッパーを使用してください

本製品は電車やバスといった公共の移動手段の中で使用することを目的として設計されたものでもありません。本製品を電車やバスなどの中で使用するときは、お客様の責任により各鉄道会社およびバス会社へ本製品の利用条件を確認の上、ご使用ください。なお、乗り物の中および電車ホーム上では、カーブや急ブレーキなどでカートが転倒するおそれがあります。必ずストッパーをかけて十分注意してご使用ください。

安全にお使い頂くために

警告：取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります

●愛犬の異変を感じたときは、すぐに使用を中止してください。

１年を通して晴天日中の時はキャリー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。車内や暖房器具の近くなどの温度が高くなることが想定される場所に愛犬を入れたまま放置しないでください。

●ペットカートが正しく完全に開いている状態でご使用ください

ペットカートをお使い頂く際は、正しくかつ完全に開いた状態でご使用ください。バッグ装着フレーム部にあるフレームロックが正しくかかっているか、フレーム開閉ボタンが正しく機能しているかをご確認ください。

●ペットを乗せたままペットカートを持ち上げないでください

フレーム部分のパイプから手が滑る等でカートが落下し、破損する可能性があります。また、カート転倒の危険性があるだけでなく、使用者の転倒や怪我、乗車中のペットの怪我や事故の原因になる可能性があります。

●製品の改造や不当な修理をしないでください

お客様ご自身での製品の改造や不当な修理は思わぬ事故につながるおそれがあります。破損や異常が発生した場合は、直ぐに販売店までご連絡・ご相談ください。製品の改造や不当な修理を行った結果に起こった事故・トラブルに関して、販売元ならびに販売店は一切の責任を負いません。

●適応犬種以外には使用しないでください

本製品は超小型犬～小型犬を対象にしています。思わぬ事故の原因となりますので、その他の目的で使用しないでください。

●子どもが使用する場合は必ず大人が立ち会ってください

カートをご使用頂く際は周囲の安全確認を行ってください。また、お子様がカートを押す場合は必ず大人が立ち会い、カートの使用方法について正しく指導の上ご使用ください。

●ストッパーを過信しないでください

ストッパーをかけていても、カートが動き出したり転倒したりするおそれがあります。停車中は必ず後輪ストッパーをロックして、ペットカートから手を離さないでください。

内容品をご確認ください

箱の中には次のものが入っています。箱をあけたらすべて揃っていることを確認してください。

●取扱説明書（本書）

●カート本体（フレーム部分・バッグ部分）

<折りたたみ時>

<使用時>

●スタンドバー　2本
（自立スタンド）

●リードフック　1本

お客様にて組み立てが必要です

・ジャバラフード
・前タイヤ
・後ろタイヤ

●底板（タイプにより形・サイズが違います）

ラプレ用

ラプレLサイズ用

●クッション（タイプにより形・サイズが違います）

ラプレ用

ラプレLサイズ用

●インナーバッグ
（タイプにより形・サイズが違います）

各部のなまえ

耐荷重	20kg（荷物含む）
カート本体フレーム重量	5kg
対象	超小型犬～小型犬

●カート本体フレーム
P11,P12,P13,P14.P15,P19,P22,P24

●ハンドル
P3,P11,P12,P13,P14

●折りたたみストッパー
P10

●トリガー
P12,P14

●ジャバラフード
P15,P16,P17

●ジャバラフード
固定用ストラップ　P17

●ロックボタン
P22

●ジャバラフード接続ホール
●ジャバラフード接続ボタン
P15

●フレーム接続ホール
●フレーム接続ボタン
P21,P22

●インナーバッグ
P23

●アウターバッグ
P20,P21,P22,P23

●Dカン　P17

●開閉バー
●開閉ボタン
P11,P12
P13,P14

●ハンモックネット
取付バー　P18
（前後各1本）

●後ろタイヤストッパー　P9

●後ろタイヤ　P8

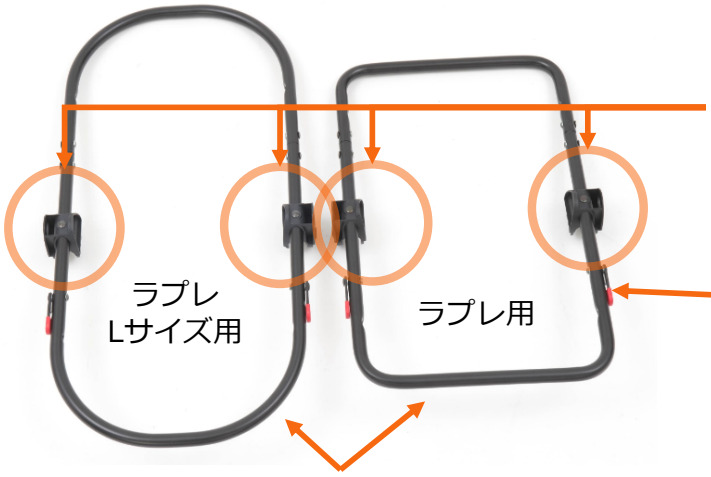
●前タイヤストッパー
P9

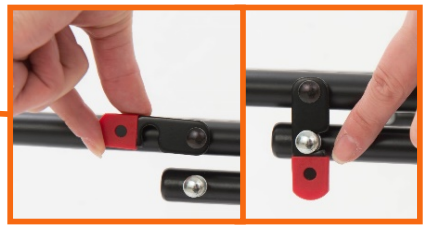
●前タイヤ　P8

●アウターバッグ固定ベルト　P19

●ハンモックネット　P18

●ジャバラフード接続ホール　P15
●ジャバラフード接続ボタン　P15





●アウターバッグ装着フレームストッパー
P21,P22

●アウターバッグ装着フレーム
P21,P22,P23

タイヤを装着する

フレームに前タイヤと後ろタイヤをそれぞれ装着します。タイヤの形状を確認して、間違えないように装着してください。

【後ろタイヤを装着する】

後ろタイヤをフレームにあわせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込みます。

後ろタイヤを装着したら、図2の○印部分を確認してください。正しくタイヤが装着されると、図のようにシルバーのボタンが見えます。

【前タイヤを装着する】

前タイヤをフレームにあわせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込みます。

前タイヤを装着する際、前タイヤのストッパーがかかっていると装着しにくいことがあります。その場合は前タイヤのストッパーをはずしてください。

タイヤをはずす

タイヤを交換するとき、よりコンパクトに収納したいとき、タイヤの汚れをふき取りたいときなどにタイヤをはずしてください。タイヤ交換は1年に1回程度を目安に行っていただくと、より長く安全にお使い頂けます。

【前タイヤをはずす】

①図の○印部分に**前タイヤの取外しボタン**があります。
②取外しボタンを押しながら、フレーム部分を持ちあげます。
③前タイヤとフレーム部分をしっかり持ち、前タイヤを引き抜きます。

【後ろタイヤをはずす】

①図の○印部分に**後ろタイヤの取外しボタン**があります。
②ボールペンやドライバーなど、先のとがったもので取外しボタンをしっかり押し込みます。
　このとき、手を怪我しないように気をつけてください。
③後ろタイヤをしっかり固定し、フレーム部分を引き抜きます。

<u>後ろタイヤをはずした後は、必ず取外しボタンを元通りの位置に戻してください。</u>【図3】のようにフレームの筒内部に針金のようなものがありますので、これを優しく引っ張ってください。正しい位置まで引っ張ると「カチッ」と音がして【図4】の○印のように取外しボタンが元通りの位置に戻ります。

タイヤストッパー使用方法　<ロックと解除>

前タイヤと後ろタイヤのそれぞれにストッパーがあります。**走行時はいずれも解除してご使用ください。**
なお、**停車時は特に後ろストッパーを必ずロックしてお使いください。**

【前タイヤストッパー　ロックと解除】

前タイヤのストッパーは必ず解除してお使いください。前タイヤストッパーのロックを解除しないままお使い頂くと前タイヤが正しく回転せず走行性が悪くなるだけでなく、場合によっては転倒などのおそれもあります。

①図の○印部分、フレーム前方側・前タイヤ上部に前タイヤのストッパーがあります。
②ストッパーがロックされているか解除されているかは、この部分を確認することで分かります。
③前タイヤストッパーがロックされた状態です。
④前タイヤロックを解除するには③で指しているボタンをしっかり押してください。
　ボタンを押し、上部に別のボタンが突き出てきたら正しくロックが解除されています。
⑤カートを使用しない際などに前タイヤストッパーをロックをする場合は、④で出たボタンを押します。

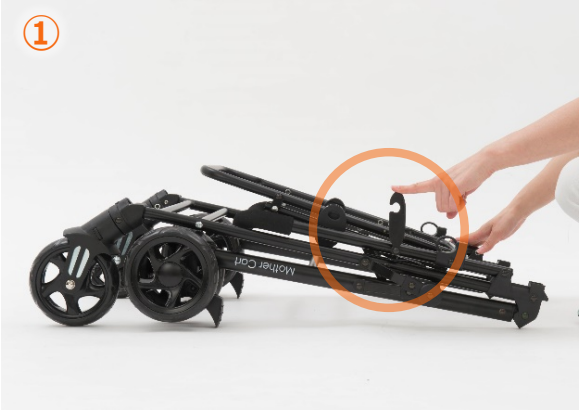
【後ろタイヤストッパー　ロックと解除】

後ろタイヤストッパーは停車時など必要に応じてお使いください。なお、タイヤおよびカートの破損・故障の原因になりますので、**後ろタイヤストッパーを解除せずに走行することはおやめください。**

①後ろタイヤストッパーの位置を確認してください。
②左右ともに手か足を使って後ろタイヤストッパーのロックを解除してください。
③後ろタイヤストッパーは足で踏み込むなどしてしっかりとロックしてください。

折りたたみストッパー使用方法　<ロックと解除>

折りたたみストッパーはカートフレーム本体を折りたたんだ時に、フレームが開かないようにするために使用するものです。**アウターバッグを装着したまま折りたたんで保管する際にも使用します。**

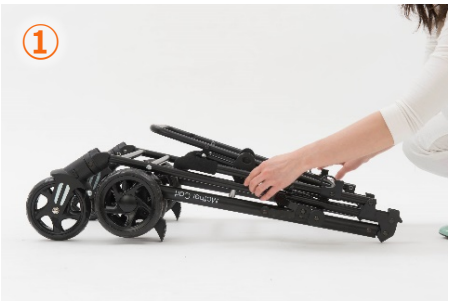


①図の○印部分に**折りたたみストッパー**があります。
②折りたたみストッパーの拡大図です。矢印方向にストッパーをかけるボタン（○印部分）があります。

③折りたたみストッパーを②図の矢印方向に倒し、ボタンにかけてロックします。
アウターバッグを装着したままで折りたたむ際はストッパーをロックしにくいことがあります。その時は、図④-1のように折りたたみストッパー部分を軽く押してください。

④折りたたみストッパーをボタンからはずして引き上げます。
ボタンがはずれにくい時は、折りたたみストッパー部分を軽く押してください。

カート本体（フレーム部分）を開く

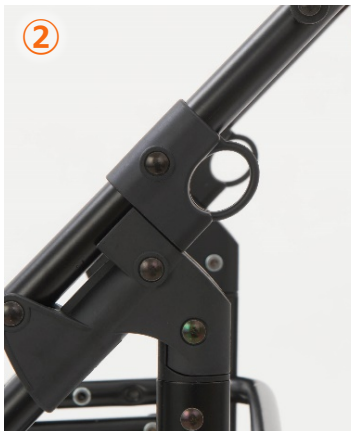


①カート本体フレームが折りたたまれた状態。折り畳みストッパーをはずします。
②図の矢印に従って**ハンドル**を開きます。
③「カチッ」と音がするまでしっかりとハンドルを開きます。

④体の向きをかえて⑤**アウターバッグ装着フレーム**部分を持ち、⑥ハンドル部分とアウターバッグ装着フレーム部分をフレーム中心部分に向かって寄せます。

⑦カート本体フレームが自立できるくらいまで開きます。
　その後、カート本体フレーム両側面：○印部分にある**開閉バー**を押し下げます。
⑧開閉バーが「カチッ」と音がするまでしっかり押し下げます。
　開閉バーは左右各1ヶ所ずつ、合計2か所あります。どちらも必ずしっかり押し下げてください。
　併せて、開閉バーの内側にある開閉ボタンが飛び出ているのを確認してください。

カート本体（フレーム部分）を折りたたむ



①図の○印部分に**トリガー**があります。
②トリガー部分の拡大図です。トリガーは左右に1ヶ所ずつ、合計2か所あります。
③左右にあるトリガー部分にそれぞれ指をかけ、同時に引き上げます。
④図の矢印方向にハンドルをたおし、折りたたみます。

⑤図の○印部分に**開閉ボタン**があります。
⑥**折りたたみの際に使用する開閉ボタンは開閉バーの内側にあります。**
　左右に1ヶ所ずつ、合計2か所あります。
⑦左右それぞれの開閉ボタンを同時に押し、⑧開閉バー部分を引き上げます。

⑨開閉バーを引き上げるときに膝をカート本体の支えとして使うとカート本体が安定し、より簡単に折りたたむことができます。

折りたたんだら、フレームが開かないように**折りたたみストッパー**をロックしてください。

P10　折りたたみストッパー使用方法

カート本体を開く：バッグ装着時

①カート本体が折りたたまれた状態。**折り畳みストッパー**をはずします。
②図の矢印に従って**ハンドル**を開きます。
③「カチッ」と音がするまでしっかりとハンドルを開きます。

P10　折りたたみストッパー使用方法

④ハンドル部分と**アウターバッグ装着フレーム**部分を持ちます。
　ハンドル部分とバッグ装着フレーム部分をフレーム中心部分に向かって寄せます。
⑤カート本体が自立できるくらいまで開いたら、開閉バーを押し下げます。
　開閉バーが「カチッ」と音がするまでしっかり押し下げます。
　併せて、**開閉バーの内側にある開閉ボタンが飛び出ているのを確認してください。**

ワンポイントアドバイス　便利なカートの使い方(1)

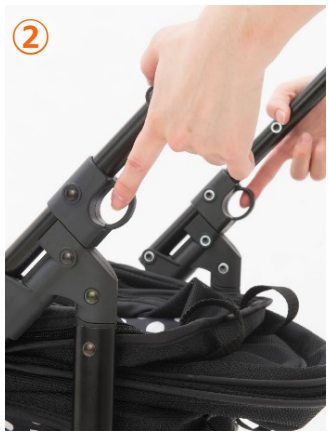
旅行先やお出掛け先で大活躍するペットカート。
便利なのはいいけれど、狭い場所では周囲に気を遣うシーンも。

そんなときは**ハンドルを折り曲げて省スペース化**がお勧めです。

愛犬を乗せたままハンドルだけを折りたたむことができるので、
愛犬もオーナー様も、周囲の方々にもストレスをかけることなく
お出掛けを楽しむことが出来ます。

是非、お試しください。

カート本体を折りたたむ：バッグ装着時



①図の○印部分に**トリガー**があります。
②トリガー部分の拡大図です。トリガーは左右に1ヶ所ずつ、合計2か所あります。
③左右にあるトリガー部分に**それぞれ指をかけ、同時に引き上げ、**ハンドルをたおして折りたたみます。
④ハンドルをたおして折りたたんだ状態です。

⑤図の○印部分に**開閉ボタン**があります。
⑥**折りたたみの際に使用する開閉ボタンは開閉バーの内側にあります。**
　開閉ボタンは左右に1ヶ所ずつ、合計2か所あります。
⑦左右それぞれの開閉ボタンを同時に押し、⑧開閉バー部分を引き上げます。

⑨開閉バーを引き上げるときに膝をカート本体の支えとして使うとカート本体が安定し、より簡単に折りたたむことができます。

折りたたんだら、フレームが開かないように**折りたたみストッパー**をロックしてください。

P10　折りたたみストッパー使用方法

ジャバラフードの脱着方法

ジャバラフードは大切な愛犬を守る幌です。正しく装着してください。

【ジャバラフードの取付方】

①ジャバラフードの両端に接続部分があります。
②アウターバッグ装着フレームの**ジャバラフード接続ホール**に①の接続部分を押し込みます。
③「カチッ」という音がするまで押し込んで、ジャバラフード接続ボタンが見えていることを確認してください。音はやや重めで聞き取りにくいことがあります。音の確認が出来なかったときは、ジャバラフードが抜けないか必ず確認をしてください。

【ジャバラフードの取りはずし方】

①**ジャバラフード接続部ボタン**を押します。
②ジャバラフードをアウターバッグ装着フレームから引き抜きます。

＜ご注意ください＞
ジャバラフードを取りはずす際、**ジャバラフード接続ボタン**が固く取りはずしにくいことがあります。無理にボタンを押すと、突き指などのケガのおそれがあります。

ボタンが押しにくいとき、力のない女性がボタンを押すときなどは指を曲げ、第二関節部分でボタンを押してください。このとき、ジャバラを軽く下方向に押し込むと、ボタンを押しやすくなります。

ジャバラフードの開閉方法(1)

【ジャバラフードの閉め方】

①ジャバラフードの前後を両手で持ち、ジャバラフードを広げるように開きます。
②図の○印のアウターバッグ装着フレーム側に向かって、ジャバラフードを押し下げます。
③アウターバッグ装着フレームが見えなくなるように、ジャバラフードをしっかりと閉じます。

【ジャバラフードの正しい向きの確認方法】

正しい向きにジャバラをセットすると、図6のように**<u>カート前方側はなだらかに、カート後方側はやや急な曲線を描きます</u>。**図7のように前方側がやや急で、後方側がなだらかな曲線を描いている場合はジャバラフードの向きが間違っています。**ジャバラフードの脱着方法**をご確認のうえ、正しい位置に装着しなおしてください。

P15　ジャバラフードの脱着方法

ジャバラフードの開閉方法(2)

【ジャバラフードを開かないように固定する】

①ジャバラフードについている**ジャバラフード固定用ストラップ**をはずします。
②図の○印の位置に**Dカン**があります。このDカンにストラップを通します。
③ストラップをDカンから引き抜きます。
④ストラップを持ち上げ、ストラップに付いているドットボタンをジャバラフードにとめます。
⑤しっかりとジャバラフードが固定されたことを確認してください。

<u>ジャバラフード固定用ストラップはカート前方に2か所（図8の○印箇所）、カート後方に2か所、合計4か所あります。必ず4か所すべてを固定してください</u>。図9のように、カート後方側も①～⑤の手順に従ってジャバラフードを固定します。合計4か所のストラップすべてを固定することで、ジャバラフードが開かなくなります。

ワンポイントアドバイス　便利なカートの使い方(2)

前タイヤは脱着がとても簡単です。車のトランクに乗せるときなど、限られたスペース内に出来るだけ周りを汚さずにカートを収納したい場合は前タイヤをはずしてみてください。

よりコンパクトに、より周囲を汚すことなく収納できます。

ハンモックネットの取付け方

付属のハンモックネットを装着すると、カート下部分に収納スペースができます。ハンモックネット部分にお荷物を収納する際は内容物が落ちないようにご注意ください。

【ハンモックネットの装着位置】

【装着前のハンモックネット】

【ハンモックネットを取り付ける準備をする】

①図の○印内のマジックテープを開きます。
②ハンモックネットのマジックテープは前後それぞれ2か所、合計4か所あります。
③4か所とも開いたら準備完了です。

【カートフレーム本体にハンモックネットを装着する】

①ハンモックネットは、カート本体フレームにある**ハンモックネット取付バー**に取り付けます。前方下部には2本のバーがありますが、その上側のバーがハンモック取付バーです。後方のバーは1本です。
②取り付け準備を行ったハンモックネットを用意し、前後それぞれのバーに巻きとめていきます。アウターバッグ裏（底）部分にある**アウターバッグ固定ベルト**を左右で挟み込むように取り付けます。
③取り付けが終わったら、アウターバッグ固定ベルトを挟んで正しく取り付けられているか必ず確認してください。

アウターバッグ固定ベルトの取付け方

【アウターバッグ固定ベルトを取り付ける＜ハンモックネット装着後＞】

①ハンモックネット取付バーに**アウターバッグ固定ベルト**を巻きとめます。
②ハンモックネットの中央部分に入っている切込み部分から見えるバーにベルトを巻きとめます。
③前方・後方とも同じ要領でベルトを巻きとめます。正しく取り付けられたか、必ず確認してください。

【アウターバッグ固定ベルトを取り付ける＜ハンモックネット装着前＞】

※分かりやすいように愛犬の乗車スペース部分を下から見た状態の画像を使用しております。そのため、一部説明部分の上下（天地）・前後なの表記が反対になっていることがあります。ご了承ください。

●カート前方側

①アウターバッグ固定ベルトはアウターバッグ底裏にあります。前後各1ヶ所ずつ、合計2か所です。
②カート本体フレーム部分の前方下部にはバーが2本あります。アウターバッグ固定ベルトは2本あるバーの上側に巻きとめます。
③取り付け後は正しく取り付けられたか必ず確認してください。

●カート後方側

④後方用のアウターバッグ固定ベルトを取り付けます。
⑤カート後方下部にあるバーにベルトを巻きとめます。
⑥取り付け後は正しく取り付けられたか必ず確認してください。

アウターバッグについて

アウターバッグ部分は愛犬が乗車するスペースです。安全にお使い頂くため、タイヤと同様に不具合・破れなどがないか、定期的に確認してお使いいただくことをお勧めします。

【リードフックの位置】

リードフックの取付け位置は前方に1ヶ所、後方に1ヶ所、合計2か所あります。付属しているリードフックは1本です。複数頭でカートをお使い頂く際は、乗車する愛犬と同数のリードフックを必ずご用意ください。

<ご注意ください>
複数頭の愛犬が乗車する際は、リードフックどうしが絡まないようにご注意ください。リードフックの絡みは思わぬ事故の原因になります。

【底板の位置】

底板はアウターバッグの最底面に入れてください。底板でリードフックが隠れないようご注意ください。

【クッションの位置】

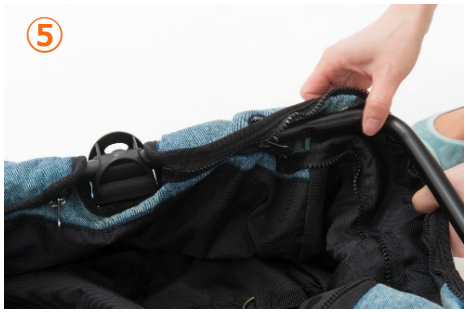
付属のクッションはお好みでご使用ください。

アウターバッグの脱着方法(1)

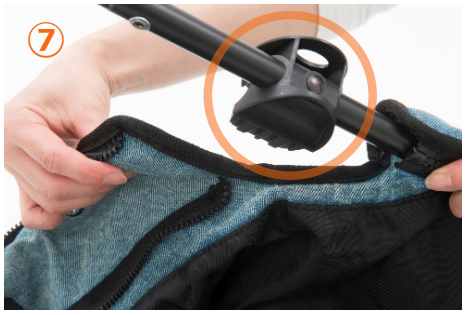
アウターバッグは愛犬の乗車スペースになる部分です。正しく装着してください。

【アウターバッグ装着フレームにアウターバッグを取り付ける】

①アウターバッグ内側にあるファスナーを開きます。
②**アウターバッグ装着フレームストッパー**と**ストッパーホール**の位置を合わせます。
③ストッパーホールからストッパーが出るように位置を合わせたら、内側のファスナーを閉めます。



④アウターバッグ装着フレームにアウターバッグを巻きとめるように装着してきます。
⑤アウターバッグ装着フレームの角や湾曲した部分はファスナーが閉めにくいことがあります。
⑥ファスナーが閉めにくいときはアウターバッグ部分をファスナー部分に少し寄せて閉じてください。



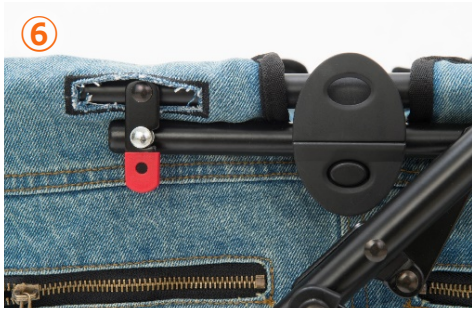
⑦もう一方も同様に①～⑥の手順を行い、アウターバッグをアウターバッグ装着フレームにつけます。
　このとき、図の○印の部分はアウターバッグの外側にすべて出るようにしてください。
⑧⑨図の○印部分がアウターバッグの内側に入り込んでしまうとカート本体フレームと接続できません。

図10の底板は、アウターバッグの取り付けが終わってから差し込んでください。また、底板を入れるときは、前後1ヶ所ずつにあるリードフック装着用Dカン（図11の○印箇所）を底板の上に引き出してください。

アウターバッグの脱着方法(2)

【アウターバッグとアウターバッグ装着フレームをカート本体フレームに取り付ける】

①前方から図の矢印方向にアウターバッグを装着したアウターバッグ装着フレームをスライドさせます。
②カート本体フレームの両側面にある**フレーム接続ホール**と接続部分の位置を合わせます。「カチッ」と音がするまでフレーム接続ホールに接続部分を押し込みます。
③正しく取り付けると、図の○印部分に**フレーム接続ボタン**が出現します



④**アウターバッグ装着フレームストッパー**をロックします。矢印の方向にストッパーを押し下げます。
⑤カートフレーム本体にある**ロックボタン**にストッパーをかけます。
⑥アウター―バッグ装着フレームストッパーは製品により固さや遊びの度合いが違うことがあります。左右のストッパーの固さが違うこともありますが、図のようにセットされていれば問題ありません。**アウターバッグ装着フレームストッパーは左右に1ヶ所、合計2か所あります。** ④～⑥の手順に従ってもう一方も同様に必ずストッパーをかけてください。その後、**愛犬乗車部分の裏底にあるアウターバッグ固定ベルトを留めてください。**

P19　アウターバッグ固定ベルトの取付け方

【アウターバッグとアウターバッグ装着フレームをカート本体フレームからはずす】

①**愛犬乗車部分の裏底にあるアウターバッグ固定ベルトをはずし、**アウターバッグ装着フレームストッパーをはずします。
②片手でフレーム接続ボタンを押し、もう一方の手でアウターバッグ装着フレームを引き上げます。フレーム接続ボタンはかたい場合があります。ケガなどしないように注意してください。
③アウターバッグ装着フレーム部分を両手で持ち、カート前方へスライドさせて引き抜きます。
④カート本体フレームからアウターバッグとアウターバッグ装着フレームがはずれます。

アウターバッグの脱着方法(3)

【アウターバッグ装着フレームからアウターバッグをはずす】

①アウターバッグ内側のファスナーをはずします。
②必要に応じてもう一方の手で支えながらファスナーをはずします。
③前方側、後方側ともに①②の作業を行うと、アウターバッグがはずれます。

インナーバッグの脱着方法

【アウターバッグ装着フレームからアウターバッグをはずす】

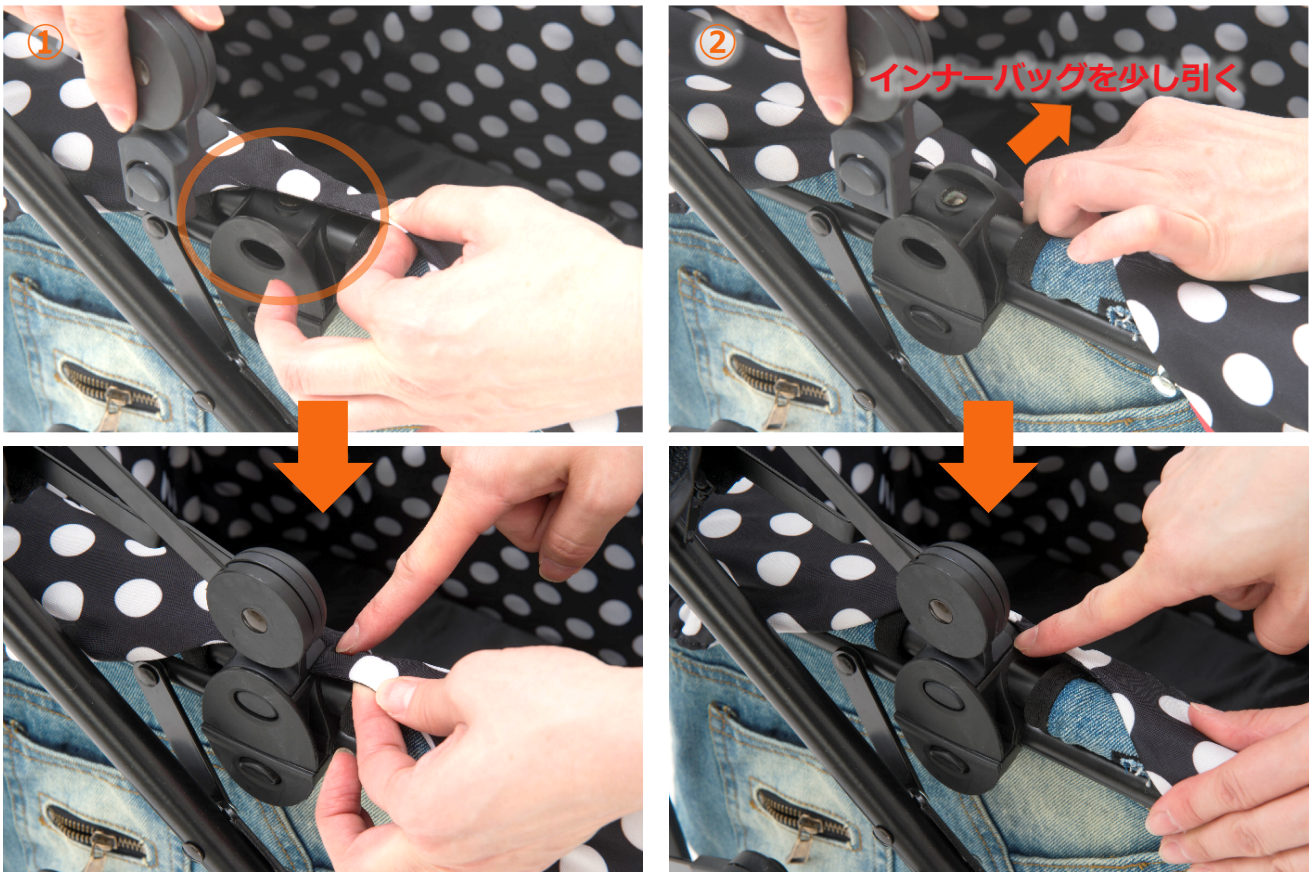
①インナーバッグの前後を確認します。
②インナーバッグには前後それぞれ１か所、合計2か所のリードフックを通すための穴が開いています。
③設置しているリードフックを穴に通して引き抜きます。

④インナーバッグをアウターバッグ接続フレーム部分にかぶせます。
⑤片側にインナーバッグをかぶせたら、もう一方にもかぶせます。このとき、軽く引っ張りながら行うとインナーバッグ裏のゴムが伸び、かぶせやすくなります。
⑥インナーバッグを整えて完成です。

P20　リードフックの位置
クッションの位置

インナーバッグ装着時に気を付けること

【インナーバッグを装着したままジャバラフードを脱着するとき】



①図の○印部分（ジャバラフード接続ホール上部）にインナーバッグがかぶさった状態でジャバラフードを接続してしまうと、インナーバッグがジャバラフード接続部分に挟まってしまいます。この部分にインナーバッグが挟まっていると、ジャバラフードが正しく接続できないことがあります。
②インナーバッグを装着したままジャバラフードを脱着するときは、愛犬乗車部側にインナーバッグを少し引いて、インナーバッグがジャバラフード接続ホールにかぶさらないようにしてください。

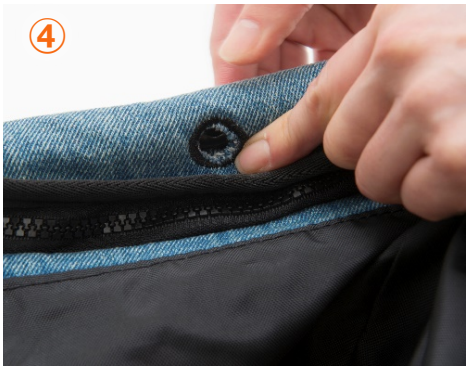
【インナーバッグそとジャバラフードが正しく装着された状態】

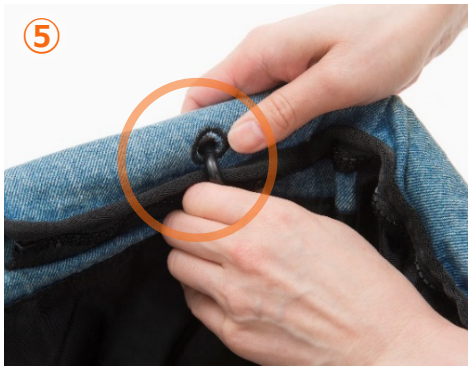
P20　リードフックの位置
クッションの位置

スタンドバー（自立スタンド）の使用方法

スタンドバー（自立スタンド）を利用して、愛犬の乗車スペースを簡易ハウスや簡易ドライブキャリーとしてお使い頂くことができます。

①カート本体フレームから愛犬の乗車スペースを取りはずします。
　（アウターバッグ・アウターバッグ装着フレーム）
②愛犬の乗車スペース内側にセットしているインナーバッグを取りはずします。
③スタンドバーをアウターバッグ内部に仮置きします。





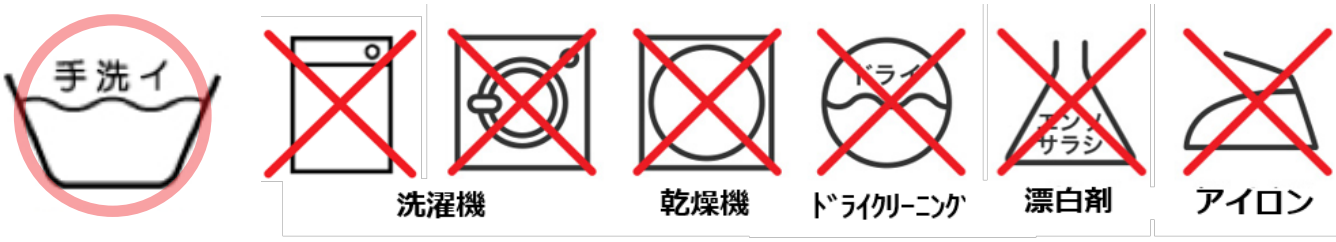
④アウターバッグ内側にあるスタンドホールとアウターバッグ装着フレームの穴の位置を合わせます。
　スタンドホールは前方に2か所、後方に2か所、合計4か所あります。
⑤スタンドバーをはめ込みます。
⑥左右対称位置にあるスタンドホールに⑤のスタンドバーをはめ込みます。

⑦スタンドバーの両端をそれぞれスタンドホールにはめ込んだら、底板の溝に向かってスタンドバーを引っ張り、⑧底板の溝にスタンドバーをはめ込みます。
⑨もう1本のスタンドバーを③～⑧の容量でセットします。
⑩スタンドバーがしっかり機能していることを確認して使用してください。

日常のお手入れ

【縫製品のお洗濯について】

●縫製品は手洗い（押し洗い）をしてください。洗濯機は使用しないでください。
●きついもみ洗いはしないでください。型崩れや縮みの原因になります。
●長時間つけ置きしないでください。
●十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
●乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
●本商品は、染色加工をしておりますので、水に濡れた場合は色落ち・色移りをする場合がございますので、お手入れの際には十分お気をつけてください



【車体（フレーム・タイヤ）の清掃について】

●フレーム部分は乾いた布でふき取ります。
●車輪のプラスチック部分及び金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。
●汚れがひどいときには薄めた中性洗剤を含んだ布でふき取り、洗剤分が残らないようにします。
●水分を含んだ雑巾などを用いた場合、必ず最後に乾いた布で水分をしっかりふき取ってください。

＜ご注意ください＞
車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。
部品の変質・劣化の原因となります。

【保管方法について】

●直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に保管してください。
●本製品は自立いたしません。保管の際にはねかせてください。
●故障や変形の原因となる無理な保管の仕方は避けてください。
●野外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
●火の近くや夏季の車内など、高温になる場所での保管は避けてください。
●車体の上に荷物などを重ねたり、圧力を加えたりした状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

【廃棄方法について】

●お住まいの各自治体の指示に従い、処分・破棄してください。

商品の返品・交換について

【商品違い・初期不良の際の商品交換について】

●商品違いおよび初期不良の場合は商品を交換いたします。
●お客様都合による正当な理由のない返品に関してはお受けいたしかねます。
●次の場合の返品・交換には応じることが出来ません。

A）ご購入日・お届け日から8日以上経過したもの
B）商品を一度でも使用した場合　※試乗含む

【返品・交換の期限について】

●破損などの初期不良品が発生した場合は、商品ご購入または商品到着から7日以内に発売元または販売店に連絡をしてください。
●指定した期日内にご連絡を頂いた場合に限り、ご希望により返金をいたします。

【返品・交換時の送料について】

●誤発送および不良品での返品の場合、当社が送料全額を負担いたします。
●ご注文間違いなどのお客様都合による返品交換の際の送料は全額お客様ご負担となります。

ワンポイントアドバイス　便利なカートの使い方(3)

本カートはペットカートとしてだけでなく、フレーム本体から愛犬の乗車スペースをはずして簡易ハウス代わりに使うこともできます。

ペットカートに慣れてもらうために自宅で簡易ハウスとしてまず使ってみるというのも良し、旅行先で愛犬のベッド代わりに使うも良し。様々なバリエーションでお楽しみいただけます。

愛犬自ら自由に出入りできるよう、前方部分にはファスナー開閉式の大型メッシュ窓を採用。窓を覆うフラップも巻きとめて固定することが可能です。

この大型メッシュ窓はカートとしてお使い頂く際には乗車スペースの換気窓として大変重宝します。

P25　スタンドバーの使用方法

よくある質問

Q:スタンドバーを使用したままカートを使えますか？

A:カートとしてご使用頂く際はスタンドバーは使いません。

スタンドバー（自立スタンド）は愛犬の乗車スペースを簡易ハウス・簡易ドライブキャリーとしてお使い頂く際にご使用頂く付属品です。スタンドバーを装着したままカートとして走行すると、愛犬の乗車部分が正常位置からずれたり、愛犬の乗車スペースが歪んで見えたりすることがあります。走行中にスタンドバーの位置がずれて、愛犬にスタンドバーが当たってしまうおそれもありますので、走行時にはスタンドバーを使用しないでください。なお、スタンドバーを装着したままでカートを折りたたむことはできません。

Q:後ろタイヤがはずれません

A:使用状況によって、後ろタイヤが取れにくくなることがあります。

後ろタイヤとその接続部分に微細な塵汚れや砂粒などが入り込んでしまうと、後ろタイヤがはずしにくくなります。その際は木槌などを用いて後ろタイヤをはずしてください。このとき、怪我などには十分に気を付けて作業を行ってください。なお、後ろタイヤの取り外しを行う際は、木槌などでタイヤを破損させてしまうことを考慮し、念のため交換用のタイヤをご用意ください。

Q:開閉バーから「カチッ」と音がしません

A:押し込みが足りない、または押し込みすぎています。

開閉バーは正しい位置にセットされたときだけ「カチッ」という音がします。その音がしないときは開閉バーの押し込みが足りないか、開閉バーの内側にある開閉ボタンを押したまま開閉バーを押し込みすぎたかのどちらかです。カート本体を開く際はしっかりと音がする位置まで開閉バーを押し込んでください。また、開閉ボタンを押して開閉バーを押し込みすぎた場合は、開閉バーを少し持ち上げて「カチッ」と音がする正しい位置に戻してください。

Q:バスや電車などの乗り物に乗れますか？

A:お使いになる移動手段の運営元に直接ご確認ください。

バス・電車などの公共の乗物は各交通機関によってペット乗車に関する規定・規約が異なります。お客様ご自身で運営元に直接ご確認ください。

Q:愛犬の乗車スペースが破けてしまいました。修理はできますか？

A:有償修理を承れる場合と、修理が出来ない場合がございます。

縫製品部分に関しては品質保証の対象外となり、破損の場合は有償修理となります。
ただし、限定生産品・生産終了品などの場合は有償修理を承ることが出来ないこともございます。その際はオプション品のお着替えバッグをお買い求めください。

Q:汚れたので洗いたい！　お洗濯はできますか？

A:ご自宅で手洗いをしていただけます。

合皮などの特殊な素材を除き、ご自宅でお洗濯が可能です。洗濯機・乾燥機は使えません。
お洗濯についてはP25「日常のお手入れ」に詳しく記載しております。併せてご確認ください。

よくある質問

Q:愛犬の乗車スペースのサイズを大きく（小さく）することはできますか？

A:オプションパーツをお買い求めいただければサイズ変更が可能です。

ラプレシリーズは、ご使用いただいている本体フレームはそのままで、通常サイズからラプレLサイズへ乗り換えて愛犬の乗車スペースを広くしたり、ラプレLサイズから通常サイズに乗り換えて小さくしたりすることができます。その際には「乗り換えセット」というオプション品をお買い求めいただく必要がございます。

Q:上下2段式で使いたいのですが・・・？

A:上段をオプションでご購入頂ければ、いつでも上下2段式としてお使い頂けます。

ラプレシリーズの下段をお持ちのお客様は、同シリーズの上段をオプションで取り付けて頂く事が可能です。通常サイズのラプレをお持ちのお客様は通常サイズの上段またはラプレLサイズの上段をセットすることができます。ラプレLサイズをお持ちのお客様はラプレLサイズ専用の上段をお選びください。

Q:上下2段式はどんな方が使っているのですか？

A:多頭飼いの方、お荷物の多い方に特にお勧めしております

どんなに普段は仲が良くても、ペットカートのような閉塞感のある場所ではいつも通りにはいかない、というわんちゃんたちも少なくありません。運動量の違いもある月齢の離れたわんちゃんたちには、別々の空間を与えてあげたほうがストレスがかからず良い場合も。そんなときに上下2段式はとても便利です。また、わんちゃんとのお出掛けの際は何かとお荷物が増えがちです。ハンドル部分にお荷物をかけると転倒の恐れがあり大変危険です。そのような事故を避け、お荷物を載せる空間を作るという意味でも上下段2段式カートをお勧めしています。上下2段式カートは多頭飼いの方だけでなく、多くの単頭飼いのお客様にもご愛用頂いております。

Q:カートを畳んだ際は自立しますか？

A:申し訳ございません、自立はいたしません。

当社ペットカートは収納の際の自立機能はございません。しかしながら、愛犬たちとオーナー様がより快適に過ごせることを最優先し、商品開発を行っております。折り畳み時に自立こそしませんが、その機動性や走行性、安定感にきっとご満足頂けると信じております。

Q:付属品・オプション品はどこで買えますか？

A:弊社オンラインショップ・直営店・お取扱店にてご購入頂けます。

付属品やオプション品は弊社オンラインショップまたは弊社直営店およびマザーカート取扱店にてご購入頂けます。お着替えバッグやインナーバッグ、交換用のタイヤ、レインカバーなど、マザーカートをより快適にお使い頂くためのアイテムを取り揃えております。是非ご活用くださいませ。

マザーカート公式HP　URL：http://www.mothercart.com/
マザーカートオンラインショップURL：http://shop.mothercart.com/
全国のお取扱店一覧ページURL：http://www.mothercart.com/shop/index.html

品質保証書(1)

【保証規定】

１）１度ご使用になった製品は、お取替えはできません。

２）保証期間内（お買い上げ日より１年間）に正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。

３）保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。また、内容によっては有償修理を承ることが出来ない場合もございます。あらかじめご了承ください。

Ａ）自然劣化（フレームの塗装はがれ、変色）
Ｂ）アウターバッグ・シートなどの縫製品のキズや破れ
Ｃ）お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障や損傷
Ｄ）火災・地震・落雷・水害・その他の天災地変による故障及び損傷
Ｅ）本書のご提示がない場合
Ｆ）本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、字句を書き換えられた場合。
Ｇ）一般家庭以外で、業務用などにご使用され故障した場合
Ｈ）車輪の自然摩擦による劣化やメッキ部分のサビなど
Ｉ）有料修理の場合に要する運賃などの諸経費

４）本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスはいたしかねます。

５）製造中止および生産終了の製品につきましては、必要部品の在庫がなくなった場合、修理をお受けできない事がございます。あらかじめご了承ください。

６）本保証書のご提示がない場合は、保証期間であっても保証対象外となることがございます。あらかじめご了承ください。

付属品・オプション品のお買い求めは・・・

各種オプション品・付属品につきましてはマザーカートオンラインショップまたはマザーカート直営店、取扱店にてお買い求めいただけます。是非ご利用ください。

マザーカートオンラインショップURL：http://shop.mothercart.com/

品質保証書(2)

本書は取扱説明書等の注意に従い製品を正常に使用し、保証期間内にお申し出があった場合に限り有効です。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

【販売店様へ】
この保証書はお客様へのアフターサービスの実施および責任を明確にするものです。贈答品等の場合も含めて必ず記入・捺印してお客様にお渡しください。

モデル名	ラプレ　M20　/　ラプレLサイズ　M20L
保証期間	ご購入日から1年間
ご購入日	年　　月　　日
お名前	
ご住所	
電話番号	(　　)
販売店名	
発売元	株式会社Sunpo 〒105-0004 東京都港区新橋5-12-11 天翔新橋5丁目ビル102 お問い合わせ：e-mail：support@mothercart.com